

SKGP2026 競技規則

笹谷部

SKGP2026 競技規則

本大会は、ルールとマナーを厳守し“安全性”を最優先とする。また、本大会はモーターレクリエーションを楽しむと同時に運転技術の向上を図り、明るいスポーツマンシップを養成し健全な交通社会人を育成すると共に、部員間の親睦を深めることを目的として開催する。この競技規定は SKGP2025 の開催および運営を公正かつ円滑に行うために定められたものである。選手各位はこれを熟読の上、競技時にはスポーツマンシップに則り競技規定を遵守するよう望まれる。

1. 大会名称
SKGP2026 第 19 回笹谷部カートグランプリ
2. 主催者の名称
笹谷部
代表者:熊谷雄一
3. 競技会場
アトムサーキット(宮城県東松島市大塩山崎9-1) 長さ:だいたい 458m
4. 開催日
2026 年 8 月 14 日(金)12 時 15 分開会
5. 参加申し込み
8 月 4 日までに主催者の指定する申込みフォームまたは申込書を送付すること。
参加料の支払いをもって正式申込とする。
6. 参加料
全クラス 1 人 12,000 円
7. ドライバーの参加資格
笹谷部員または部員紹介を受けた者であり、なおかつアトムサーキットレンタルカート乗車規定を満たす者。5 年以内に JAF 制限付格式以上のカートレース、またはアトムサーキットスプリントレース 1 クラス、1.5 クラスに出走経験のある者は資格を満たさないものとする。上記除外条件があっても主催者が特に認めた者はこの限りではない。
8. 競技車両
アトムサーキットでレンタルカートとして貸し出される B タイプレンタルカートを使用する。係員によるペダル位置調整や、貸出あるいは持込のクッション等による乗車位置調整をのぞき、カートへの一切の改造は認めない。スタッフにより走行に支障があると認められた場合のみ、カートの調整・交換を許可する。練習走行、スーパーラップ予選を除く予選走行、決勝レースで使用するカートについては、セッション前にくじ引きを行い、くじに記載された車番のカートを使用する。スーパーラップ予選に使用するカートは、主催者がランダムで決定した複数台を交互に使用する。
またカートには性能差があり、状況に応じて係員による性能調整が行われる場合がある。
9. 競技者の装備
ヘルメット・グローブ・長袖長ズボン・運転に適した靴の着用を義務付ける。腕まくりを含めて、カート乗車中に不正に肌が露出する状態になることは禁止する。
(ア) ヘルメットに関しては JIS または SG マーク、それらに相当する規格のフルフェイスヘルメットに限る。
目を覆うシールド、またはゴーグルやバイザーが使用可能になっていること。
(イ) グローブに関しては全指の布または皮製グローブとする。ゴムや皮、それに類する素材の滑り止めがついているものを特に推奨する。強度が不足していると主催者が判断したものは使用できない。
(ウ) 衣服はバタつかず、通気性の良いものを推奨する。車体回転部に巻き付く恐れのある装備の着用は禁止する。
頭髮が長い場合は束ねるなどし、車体回転部に巻きつかないよう十分注意すること。
(エ) 化繊素材のインナーウェアを着用する場合、それ単体のみが露出している場合は長袖長ズボンとして認めない。
(オ) 底の厚い靴や下駄、サンダルなどを履いての乗車は認めない。
(カ) ヘルメット・グローブ等に関しては会場のレンタル品を使用することを認める。
(キ) 装備に関しては、申込時に主催者にレンタルの有無を申告すること。
10. 走行に関する共通事項
(ア) コースの走行順路は遵守すること。いかなる場合でも逆走してはならない。また急激な進路の変更など重大な事故を招く恐れのある走行は厳に慎むこと。
(イ) コース外に車両が飛び出した場合やコース内での方向転換が困難な場合、周囲の安全の確認した上で車両から降り、バンパーやフレームを保持し方向転換や移動を行うこと。グラベル内での無理な走行はカート故障の原因となるため避けること。
(ウ) コース内外でカートの故障などにより走行不能となった場合は両手を上げ、オフィシャルの到着を待つこと。カートに乗車したままでは危険が及ぶ場合は速やかに退避し、ヘルメット着用のまま安全な場所にて待機すること。
(エ) ピットアウトは右手を上げて後方を確認した後、コースインすること。ピットイン時は最終コーナー前に左側に寄って拳手したうえで、ピットロードに入ること。その際ピットロード入口、出口より延長する白線をまたいではない。

11. 開催クラス

スプリントレースはタイムトライアルのベストタイム及び予選タイムにより各選手を次のクラスに振り分け、決勝を行うものとする。

また参加者数に応じて、クラス数の増減やクラス内の人数を変更する場合がある。それぞれの対象となる順位やクラス内人数に関しては、当日公式通知で発表するものとする。クラス名は仮称である。

(ア) GACHI クラス(スーパーラップ予選 1～8 位)

(イ) ささ子クラス(スーパーラップ予選 9～16 位)

(ウ) アイ研課クラス(スーパーラップ予選 17～24 位)

(エ) 漢劇クラス(セカンドチャンストライアルでスーパーラップに進出できなかった者)

12. GACHI クラス走行内容

GACHI クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ タイムトライアル(約 6 分)
- ・ 予選(スーパーラップ計測 2 周)
- ・ プレファイナル(10 周)
- ・ 決勝(15 周)

12-1. GACHI クラス競技補足

- ・ 全参加者のタイムトライアルの結果を集計し、順位が 22 位以内かつ、スーパーラップ予選で 1～8 位の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ タイムトライアルの組分けは昨年大会成績や他カテゴリでの成績等により、主催者が行う。
- ・ プレファイナルのグリッド順は予選走行で記録したタイム順、決勝のグリッド順はプレファイナルの完走順とする。

13. ささ子クラス走行内容

ささ子クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ タイムトライアル(約 6 分)
- ・ 予選(スーパーラップ計測 2 周)
- ・ プレファイナル(10 周)
- ・ 決勝(15 周)

13-1. ささ子クラス競技補足

- ・ 全参加者のタイムトライアルの結果を集計し、順位が 22 位以内かつ、スーパーラップ予選で 9～16 位の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ タイムトライアルの組分けは昨年大会成績や他カテゴリでの成績等により、主催者が行う。
- ・ プレファイナルのグリッド順は予選走行で記録したタイム順、決勝のグリッド順はプレファイナルの完走順とする。

14. アイ研課クラス走行内容

アイ研課クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ タイムトライアル(約 6 分)
- ・ 予選(スーパーラップ計測 2 周)
- ・ プレファイナル(10 周)
- ・ 決勝(15 周)

14-1. アイ研課クラス競技補足

- ・ 全参加者のタイムトライアルの結果を集計し、順位が 22 位以内かつ、スーパーラップ予選で 17～24 位の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ タイムトライアルの組分けは昨年大会成績や他カテゴリでの成績等により、主催者が行う。
- ・ プレファイナルのグリッド順は予選走行で記録したタイム順、決勝のグリッド順はプレファイナルの完走順とする。

15. 漢劇クラス走行内容

漢劇クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ タイムトライアル(約 6 分)
- ・ セカンドチャンストライアル(5 分)
- ・ プレファイナル(10 周)
- ・ 決勝(15 周)

15-1. 漢劇クラス競技補足

- ・ 全参加者のタイムトライアルの結果を集計し、順位が 23 位以下かつ、セカンドチャンストライアルで 2 位以下の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ タイムトライアルの組分けは昨年大会成績や他カテゴリでの成績等により、主催者が行う。
- ・ プレファイナルのグリッド順はセカンドチャンストライアルで記録したタイム順、決勝のグリッド順はプレファイナルの完走順とする。

16. タイムトライアル

各選手は約 6 分間のタイムトライアルを 1 回行うものとする。規定時間内にその選手の記録した最も速いベストラップをタイムトライアルのタイムとする。

(ア) タイムトライアルのグループ分け

タイムトライアルは全選手を A～D の 4 グループに分割してグループ分けを行う。各グループの選手数が同数とまらない場合、最も少ない選手数のグループより 1 人ずつ多くなることを認める。タイムトライアルの組分けは過去の大会成績や他競技での実績、カート走行経験数等により、主催者が行う。

(イ) グループ分けの発表時間と抗議、変更

タイムトライアルのグループ分けは、当日の参加受付時までに発表される。この際、各選手 1 回に限り自らのグループ位置について主催者に対し口頭で抗議をすることができる。それによりグループ分けの変更がなされた場合、最初のグループのタイムトライアル 15 分前に、主催者は訂正した走行グループを発表しなければならない。また、それ以降の抗議、グループ変更は一切認めないものとする。

17. セカンドチャンストライアル

タイムトライアルにおいて 23 位以下となった選手はセカンドチャンストライアルへの出走が認められる。各選手は約 5 分間のタイムトライアルを 1 回行うものとする。規定時間内にその選手の記録した最も速いベストラップをタイムトライアルのタイムとする。

(ア) セカンドチャンストライアルのグループ分け

セカンドチャンストライアルは総参加人数に応じて 1～2 組のグループに分けて行う。各グループの選手数が同数とまらない場合、最も少ない選手数のグループより 1 人ずつ多くなることを認める。組分けは参加対象選手のタイムトライアル上位から交互に割り振られ、主催者に最終決定権がある。

(イ) 規定時間

セカンドチャンストライアルにおける走行の規定時間は各クラス 5 分である。コントロールライン付近の係員から予選走行時間開始の合図が出た瞬間を規定時間の開始とする。それより 5 分間の経過の後、コントロールライン上でチェッカーフラッグを振動表示する。チェッカーフラッグが表示されたコントロールライン上を通過した瞬間をもって、その選手の予選時間の終了とする。何らかの理由により規定時間以降も周回を行った場合は、時間内に記録したラップタイムのなかで出された最も速いものを記録として採用する。また、予選走行をする選手の過失でないトラブルがコース上で発生し、赤旗による中断となった場合の処置については、主催者ならびに係員の判断に委ねるものとする。

(ウ) 記録

セカンドチャンストライアルの記録は規定時間内で記録したラップタイムのうち、最も速いラップタイムを採用することとする。

(エ) クラス分け

セカンドチャンストライアルのタイムが各組上位 1 名の選手はスーパーラップ予選への参加となる。グループが 1 組の開催となった場合上位 2 名をその対象とする。同タイムを記録した選手については、競技規定 17.(オ)に準ずる。記録したタイムを総合しスーパーラップ予選を走行する選手とのクラスの入替えを行うことはない。

18. スーパーラップ予選

スーパーラップ予選はタイムトライアルのタイムが 1～22 位までの選手とセカンドチャンストライアルで進出が決まった選手が参加する予選で、各選手 2 周のスーパーラップ方式でのタイムアタックにて行われる。

(ア) タイムアタック方式

規定された走行順によって指定された選手が 2 周の計測走行を行い、各選手が出したベストタイムを予選タイムとする。

(イ) 走行選手と走行順

スーパーラップ予選はタイムトライアルのタイムの遅かった選手から順に行う。また、2 名または数名の選手が同一タイムを達成した場合は、タイムトライアル 2 回の走行のうち遅いタイムを比較しより遅かった選手が先に計測を行うこととする。

(ウ) 規定時間

予選走行で計測を行う周回数は各選手 2 周である。ピットロード出口を通過しコース上に出て、最初にコントロー

ルラインを通過した瞬間を計測の開始とする。3 回目にコントロールラインを通過した瞬間をもって、計測終了とする。その際、コントロールライン上でチェッカーフラッグを振動表示する。チェッカーフラッグが振動表示されたコントロールラインを通過した瞬間以降、次の選手がピットロード出口を通過しコース上に出ることができる。また、予選走行をする選手の過失でないトラブルによって計測ができなかった場合、すべての選手の計測が終わった後に再度計測を行うものとする。

(エ) 記録

予選走行の記録は規定周回内で記録したラップタイムのうち、最も速いラップタイムを採用することとする。

(オ) クラス分け

スーパーラップ予選のタイムが上位 8 名の選手は、GACHI クラス決勝へ出走することが出来る。9 位～16 位の選手はささ子クラス決勝へ出走することが出来る。下位 8 名の選手は、アイ研課クラス決勝へ出走することが出来る。スーパーラップ予選において 2 名または数名の選手が同一タイムを達成した場合は、セカンドベストタイムの速かった選手が優先される。

19. プレファイナルと決勝レース

(ア) プレファイナルの周回数は 10 周、決勝レースの周回数は 15 周とする。

(イ) プレファイナルの結果による決勝レースのグループ変更は行わないものとする。

20. スターティンググリッド及びスタート手順

(ア) グリッド

A) グリッドはアトムサーキットオレンジグリッドボックスを採用する。

B) プレファイナルでは予選で達成されたベストタイム順の 2 列とする。2 台または数台の車両が同一タイムを達成した場合は、競技規定 17.(オ)に準ずる。決勝においてはプレファイナルの完走順の 2 列とする。未完走の選手は最後尾とし、2 台または複数の車両が未完走となった場合は記録した周回数の多い順を優先とする。

C) グリッドの整列順の最終決定権は主催者が持つものとする。

(イ) スタート手順

A) スタート方法は日章旗によるスタンディングスタートとする。

B) スタート進行はスタートまで 1 分前、30 秒前のボードが表示される。

C) グリッドに整列した選手はエンジンを切り、待機すること。

D) 1 分前ボードが提示される前に選手紹介が行われる。自分の名前が呼ばれたら元気よくアピールすること。

E) 1 分前ボードが提示された後、ドライバーはエンジンを始動させること。また、ドライバー及びオフィシャルを除き全員グリッドから退去すること。

F) スタート合図はスターターの日章旗によって行われる。30 秒前ボードが提示された後、日章旗が両手持ちで掲示される。日章旗から片手が離れた瞬間、レースがスタートする。

G) 何らかの理由によりスタートが不可能と判断した場合は、コントロールライン上で赤旗を掲示し、スタートを延期する。

21. ペナルティ・オレンジボール・イエローフラッグ

(ア) 反則スタート、悪質なブロッキング、プッシング、重大な危険走行等の違反等に対し、黒旗と当該車両のゼッケンボードがコントロールライン上で提示される。また、ペナルティの場合は違反の軽重により、原則として 1～60 秒間のペナルティストップまたは周回数減算のペナルティとなる。ペナルティストップ終了後はレースに復帰できる。練習走行や予選においてペナルティの対象となった場合は、当該走行のベストタイム抹消や説教によるペナルティとなる場合がある。

(イ) ペナルティの黒旗を 3 周以上無視して走行を続けた場合は、当該車両を失格とする。

(ウ) 黒旗の提示を受けたまま 3 周を経過せずチェッカーを受けた場合、周回数減算などのペナルティに切り替える。

(エ) コース内パイロン等と接触した場合や、通常走行し得ない箇所を走行し有利となった場合、または軽度の危険と認められる走行を行った場合、警告として黒白旗と当該車両のゼッケンがコントロールライン上で提示される。再度同様の行為が行われた場合、ペナルティに切り替わる場合がある。またこの警告の累積は、次回走行に引き継がない。

(オ) 車両に重大なトラブルが発生していると認められる場合、またはドライバーの装備に不備が認められる場合にオレンジボール旗と当該車両のゼッケンがコントロールライン上で提示される。この場合、当該車両はピットに入り、オフィシャルの指示に従わなければならない。

(カ) コース上危険と認められる状態が確認できる場合、オフィシャルによりイエローフラッグが振動提示される。イエローフラッグはフラッグを提示したコース内係員の前方に危険があると予告するものであり、危険箇所を通過するまでの区間を追い越し禁止とする。追い越し禁止区間での追い越しはペナルティの対象となる場合がある。オフィシャルはコース上任意の場所に配置される。

(キ) ペナルティの内容および処遇に関する抗議は受け付けない。

22. レースの中断および再開

- (ア) レースの続行が不可能と判断される重大な事故もしくは、危険な状態がレース中発生した場合には、コントロールライン上またはコース内係員によって赤旗が掲示されレースは一時中断される。
- (イ) その場合、コース内を走行中のドライバーは安全なスピードを保ちピットに戻る。
- (ウ) 再スタート時のグリッドは赤旗が掲示される1周前のコントロールラインの通過順位により決定される。尚、2周未満で中断した場合は、元のグリッドでスタンディングスタートからやり直しとなるが、周回数は減算される。
- (エ) 競技が正常な状態で進行することが不可能になったとき、セーフティカーの導入により一時非競技化される場合がある。セーフティカーは2人乗りカートで「SC」のボードが掲げられたものである。セーフティカーが導入されると、コントロールライン上、オフィシャルによって黄旗が提示され、全ての車両はセーフティカーの後ろに一列となり追い越しは禁止となる。
- (オ) 再開時は、セーフティカーがコースアウトし、コントロールライン上で緑旗が掲示される。その時点で追い越し可能となる。
- (カ) セーフティカー導入中の周回は競技周回として算入される。

23. レース終了

- (ア) レース終了の合図は、先頭を走る車両がコントロールラインを通過する時にコントロールライン上でチェッカーフラッグが振動表示される。この際周回遅れとなる車両が前方を走っている場合、先頭車両を指しながらチェッカーフラッグを提示する場合がある。
- (イ) 決勝レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのドライバーがゴールした後、2分間が経過した時刻とする。
- (ウ) チェッカーフラッグの表示を受けた後の追い越しは禁止される。

24. 順位決定の必要条件

- (ア) 順位判定は最終周回を完了したもののみに対して行われる(チェッカー優先)。
- (イ) チェッカーは、本コース上のコントロールライン上のみ受けた事とする。
- (ウ) 優勝者以外の順位は、フィニッシュラインを通過してチェッカーを受けたもので、周回数の多い順に決定され、同一周回数の場合はゴールラインの通過順位による。ただし、走行周回数が優勝車両の走行周回数の40% (小数点以下切捨) に達しない車両は順位の認定を受けられない。

25. 参加者の厳守事項

- (ア) 全ての参加者は大会中、大会役員並びに会場スタッフの指示に従わなければならない。**怒らないこと。**
- (イ) 指定された場所以外での喫煙は厳禁とする。
- (ウ) 参加者は、主催者や大会役員及びスタッフ、参加者の名誉を傷つける様な言動はしてはならない。
ただし#ぶちよおは積極的に煽っていい
- (エ) 万一事故その他障害が発生した場合、主催者及び会場は応急処置以外の責任は負わない。
- (オ) 受領した参加料金は以下に記載する場合を除き、いかなる理由があっても返還できない。
新型コロナウイルス他天災を含むやむを得ない事情により開催ができないと判断した場合、1名あたりエントリー費より運営費用1,000円を差し引いた金額を返還する。

26. 賞典

GACHIクラス

- ・ 1位・・・トロフィー+やべえ副賞
- ・ 2位・・・トロフィー+副賞
- ・ 3位・・・トロフィー+副賞
- ・ 5位・・・副賞(真ん中賞)
- ・ 7位・・・トロフィー(持ち回り)+副賞(ブービー賞)
- ・ 決勝レースファステストラップ・・・副賞

ささ子クラス

- ・ 1位・・・トロフィー+副賞
- ・ 2位・・・トロフィー+副賞
- ・ 3位・・・トロフィー+副賞

アイ研課クラス

- ・ 1位・・・表彰楯+すげえ副賞
- ・ 2位・・・表彰楯+すげえ副賞
- ・ 3位・・・表彰楯+すげえ副賞

漢劇クラス

- ・ 1位・・・表彰楯+副賞(コマンドー)
- ・ 2位・・・表彰楯+副賞
- ・ 3位・・・表彰楯+副賞

全クラス共通

- ・ 期待の新人賞
- ・ なめてるやつで賞 他

27. 主催者の権限

- ・ 記載された走行クラスの台数に関しては、参加台数によりクラスの台数、クラス分けの順位は変動するものとする。主催者はドライバーズミーティングまでにその変更を告知する必要がある。
- ・ レースアンバサダーへのおさはりは禁止する。記念撮影はレースアンバサダーが許可した場合のみ可能とする。
- ・ 副賞に関しては万全を期するが、その所持により不都合が発生した場合主催者は責任を負わない。
- ・ パイロンは各選手2本まで持参を許可する。また水鉄砲はパイロンと同等の容量以下のものに限る。
持ち込んだ水鉄砲およびパイロンの車検を当日参加受付時に実施する場合がある。

SKGP2026 競技規則

笹谷部

- ・ 大会運営にあたり撮影された写真、動画等は今後の笹谷部の活動のために使用される場合がある。
- ・ 本規定に記載外の事項であっても、主催者またはスタッフが危険と判断した場合、走行の中断、参加者の参加資格の剥奪を行うことが出来る。また、主催者またはスタッフが必要と認めた場合、競技規定の変更を行うことがある。
- ・ 以上の規則は主催者の権限によって開催前、開催期間中であっても変更されることがある。その際には参加者全員が確認できる方法で告知しなければならない。

令和8年7月6日 制定

以上